

交通ちば



VOL. 401 平成23年10月1日

千葉県交通安全活動推進センター
(財)千葉県交通安全協会連合会

平成23年 秋の全国交通安全運動出動式



知事と県警本部長の前で交通安全の誓いを読む石川真理恵さん（左）と本田悠人君（右）



雨の中、参加者全員に見送られて出動

9月21日、千葉市中央区の県庁一階エントランスホールで、秋の全国交通安全運動に伴う出動式が行われました。式には森田健作県知事、鎌田聡県警本部長をはじめ交通安全活動を推進する団体の代表や役員およそ180人が参加しました。また、交通安全こども自転車千葉県大会で8年連続優勝し、全国大会でも個人優勝、団体5位に入賞した松戸市立小金小学校自転車部の5人が参加し、代表の2人が「交通安全の誓い」を読み上げました。

日本一安全な千葉県を目指して

小金小学校自転車部員が参加して出動式

夕暮れは 早めのライトに 反射材



鎌田県警本部長



あいさつする森田知事



式終了後小金小学校の5人と記念撮影

出動式であいさつに立った森田知事は「交通事故は年ごとに減少しているが、亡くなる人は相変わらずいる。何としても交通死亡事故をゼロにしたいと思ってるので皆様のご協力をお願いしたい」と呼びかけました。続いてあい

さつに立った鎌田県警本部長は「子どもと高齢者の交通事故防止などを重点に活動を進めていくので、関係者の皆様は先頭に立って頑張っていたいただきたい」と述べました。

次に松戸市立小金小学校自転車部の5人が前に出て、代表の本田悠人君と石川真理恵さんが「自転車の運転は自分がけがをするだけでなく、人を傷付ける場

その後、一同は玄関前に移動し、台風15号の接近で降りしきる雨中、交通事故防止活動に出動するパトカーや移動交番車を拍手で見送りました。

運動期間中、県内44地区の各交通安全協会は地域の実情に合わせた交通事故防止活動を精力的に展開しました。

第9次千葉県交通安全計画推進中

目的

人命尊重の理念のもとに、総合的かつ長期的な交通安全施策を実施し、交通事故のない、安全で安心して、いきいきと暮らせる「交通安全県ちば」の実現を目指します。

目標

平成27年までの目標を次のとおりとします。

年間の **24時間死者数 150人以下**
死傷者数 2万5千人以下



県からの委託を受け交通安全協会連合会が行っている交通安全コミュニティ事業の「地域ぐるみ総点検」も施策の一つです。写真は通学路の安全を確認する保護者と交通指導員

千葉県は、県民が「くらし満足度日本一」を感じ、誇れる千葉県を実現していく上で、交通事故にあわせない、安全に暮らせる社会づくりに全力で取り組んでいます。

「第9次千葉県交通安全計画」は、国が作成した「交通安全基本計画」に基づき、平成23年度から27年度までの5年間に取り組む、交通安全に関する施策です。

各地の交通安全活動ニュース

交通安全協会の活動にご協力いただきありがとうございます。会員の皆様の会費は、地元の交通安全協会の交通安全ボランティア活動に活用されています。



茂原 白子町で「アクション10」に伴う街頭活動を行う。



松戸 北松戸駅前前で死亡事故多発警報発令に伴う活動を行う。



千葉南 昭和の森公園入口でシートベルト着用を呼びかける。



一宮 宮原交差点で啓発物を配り安全運転を呼びかける。



柏 大規模商業施設で自転車の安全利用を呼びかける。



習志野 大久保商店街の夏まつり会場で交通整理を行う。



勝浦 病院近くで通院の高齢者に啓発物を配る。



印西 印西牧の原駅周辺で啓発物を配り交通安全を訴える。



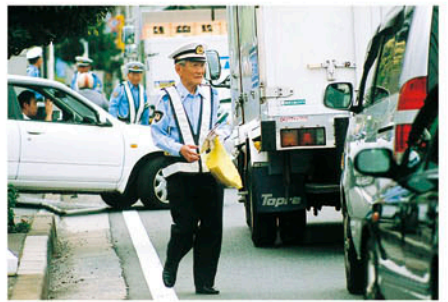
鎌ヶ谷 夏祭りの梨の木通り歩行者天国で交通整理を行う。



館山 市内稲交差点で自転車に反射材を取り付け啓発する。



旭 市民七夕祭り会場で啓発物を配り交通安全を訴える。



市川 警察署前の通りで全席シートベルト着用を呼びかける。



鴨川 長狭高校前で「アクション10」の街頭活動を行う。



東金 東金やっさ祭り会場で歩行者の保護誘導を行う。



行徳 新浜交差点で啓発物を配り交通事故防止を訴える。

県内の交通死亡事故多発!!

死者数12年連続減少に黄信号

9月21日現在の県内の交通事故発生状況は左の表のとおりです。交通事故死者数は126人で前年同期比4人増で、全国ワースト6位となっています。過去11年、死者数は毎年減少を続けていましたが、前年比プラス4人に転じたのは初めてのことで、死者数12年連続減少に黄信号がともっています。

死亡事故原因を見ますと、気の緩みからくるボンヤリ運転と、速度超過や信号無視等の無謀運転による事故が多発していることがうかがえます。

9月21日現在県内の交通事故発生状況

区分	累計	前年比
発生件数	16,237件	- 1,944件
死亡事故件数	125件	+ 8件
死者数	126人	+ 4人
負傷者数	20,053人	- 2,600人

*発生件数、負傷者数は概数です。
*数字は平成23年1月1日からの累計です。

- 要因のひとつが柏市や松戸市など東葛地域での事故が増加していることで、同地域での死者は33人
- 交通安全防止対策を推進する機関や交通安全協会は次のような抑止対策を重点的に進めています。
 - 運転者は、交差点での安全確認を徹底し、防衛運転（危険予想に基づく運転）に努めましょう。
 - 日没が早まっています。早めのライト点灯で自車の存在を周囲に知らせましょう。
 - 飲酒運転、速度超過、信号無視等の悪質・危険運転は絶対にしないようにしましょう。
 - 運転者は子どもや高齢者などの近くを通るときはスピードをゆるめ思いやりを持った運転をしましょう。

『自転車事故を無くすために』 遺族・被害者、マナーアップ隊の手記

息子と事故と交通安全 40歳代 女性

あの日、息子はいつも通りに塾に行き、「もうそろそろ帰ってくるかな」と思っていたも、なかなか帰ってきませんでした。いつもより遅い帰りに少し不安になり、自宅から息子を捜しに出掛け、少しするとパトカーと救急車がいたので、「もしかしてうちの子かな」と一瞬間に思い浮かび、近づいていったところ、道路の端にある自転車を見てみると、「あの自転車は息子のだ」とわかり、警察官に話しかけたところ、やはり息子が事故にあっていました。

その時の事故の状況は、息子は右折してくる車に全く気付かず、車の運転席側に衝突したとのことでした。この時、突然の事で一体何が起きたのかわからなかったと後で息子から聞いています。

私は、息子が事故に遭い驚いたことと、時々自転車の事故が多いと聞いていましたが、どこか他人事のようにしか聞いておらず、まさか息子がという思いでした。

私自身普段の生活の中で、子供たちに「夕方暗くなったらライトをつけるのよ」、「事故に気をつけなさい」とよく話している

つもりでしたが、そういうと、息子は「ライトをつけると、自転車が重いからヤダ」と言い、私も特にそれ以上言うことはありませんでした。

また、そうそう交通事故に遭うこともないだろうという少し甘い考えもありました。

今回息子が事故に遭い、警察官から現在の位事故が発生しているのか状況を知り、自転車の関係する交通事故が増えていると知り、これから家庭で出来る交通安全について話を聞き、今回の事故を教訓として、まず子供の立場になって指導することが大切ということがわかりました。（中略）

「交差点では周りの車とかもよく見なさい」、「車の運転手が見ていないかもしれないよ、見てないかなと思ったら止まるのよ」と少し具体的なアドバイスが必要だということがわかりました。

今後交通事故に遭うことがないよう、家庭から交通安全について、母親として子供のために、より子供の視点で指導していかなければいけないと痛感しました。

最後にこの手記を読まれた子を持つ親の方へ、普段忘れがちになっている交通安全ですが、事故が起きてからでは遅いのです。後悔しないためにも、今一度家庭からできる交通安全について考え直してみよう。

（財）千葉県交通安全協会連合会発行
『自転車事故を無くすために』より

交通指導員8月の活動状況

○ 駐車対策	24回	167人
○ 安全教室		
・ 児童	7回	15人
・ 一般・高齢者	12回	68人
○ 自転車教室	4回	63人
○ 祭礼警戒	118回	1136人
○ 街頭活動		

・ チャイルドシート・シートベルトの着用指導	27回	234人
・ 街頭監視	203回	1070人
・ 街頭広報	58回	149人
○ 各種イベント	36回	213人
○ 会議・研修会等	65回	465人
□ 出動回数総数	554回	554回
□ 出動人員総数	3580人	3580人

発行 財団法人千葉県交通安全協会連合会

ホームページアドレス
<http://www.chiba-ankyo.or.jp>

千葉市美浜区浜田2丁目1番
千葉県警察本部交通部運転免許本部内
電話 043-271-8481

交通ルールを守って
つながる笑顔

